

第68回

日本太鼓全国講習会



箕輪町 もみじ湖（箕輪ダム）（箕輪町観光協会提供）

期 日 2022年10月15日（土）・16日（日）

会 場 長野県上伊那郡箕輪町 箕輪町文化センター

主 催  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主 管 日本太鼓財団長野県支部、中日本太鼓連合、みのわ太鼓保存会

後 援 文化庁、長野県、長野県教育委員会、箕輪町、箕輪町教育委員会、日本財団



公益財団法人 日本太鼓財団

理事長 大澤 和彦

日本太鼓全国講習会が2年ぶりに開催されますことを心より喜ばしく思います。

公益財団法人日本太鼓財団は、本年設立25周年を迎え、新たに滋賀県、和歌山県の2支部が開設されました。現在43都道府県に47支部となり、加盟団体数約670団体、会員総数約18,000人を数えております。日本の太鼓は、老若男女、また障害の有無に関わらず、国籍を問わずますます多くの方に愛好されております。

この講習会は、日本太鼓の指導者育成と太鼓技術の向上を目的として行われており、現在公認指導員254人（海外22人）、技術認定員12,811人（海外2,330人）が講習会で学んだことを活かして各地で活躍されています。本日、参加される皆さまには、公認指導員の資格を持つ素晴らしい講師の指導のもと技術を習得するだけでなく、太鼓の歴史や礼節も学んでいただきたいと思っております。さらに、全国の仲間と交流を図り、思い出に残る講習会になりますことを期待しております。

なお、本講習会は当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染予防対策を講じながら、実施いたします。参加される皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただければと存じます。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団及びボートレース関係者、また本講習会にご支援ご協力をいただきました文化庁、長野県、長野県教育委員会、箕輪町、箕輪町教育委員会をはじめ、ご指導いただきます講師の先生方、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の日本太鼓財団長野県支部、中日本太鼓連合、みのわ太鼓保存会の皆さまに心からお礼を申し上げます。



中日本太鼓連合 会長
日本太鼓財団長野県支部 支部長
古 屋 邦 夫

公益財団法人日本太鼓財団「第68回日本太鼓全国講習会」開催にあたりご挨拶申し上げます。

2020年2月、第67回全国講習会が佐賀県で開催されて以来2年ぶりの講習会が長野県上伊那郡箕輪町にて開催されますことに大変喜びを感じております。全国からお越しの皆様を心より歓迎申し上げます。

コロナ禍においていまだに拡大が続いており終息には至りませんが、いろいろな制約も徐々に緩和されてまいりました。

講習会では指導者育成と太鼓技術の習得・向上および日本太鼓の普及・振興を図ることを目的としておりますが、それ以上に多くの人と知り合い語り合い、人間関係の輪を広めていただく場と考えております。その場が今日ここに久しぶりに設けられたことに喜びと感謝でいっぱいです。改めて太鼓を通じて老若男女・障害者を問わず益々多くの人に活躍の場が広がることを希望します。

今回の講習会は更新研修会も開催されます。新しい内容での研修会となりますが、1つでも多く吸収して、指導者として自分自身を見つめ直す機会にしてほしいと思います。

今回の開催にあたりましては支部をあげてご協力させていただくとともに、素晴らしい講師の方々をお迎えしております。技術を教わるだけではなく是非技術を盗み取ってほしいと思います。その結果実り多きを得られるものと確信しております。

最後にご指導いただきます講師の皆様をはじめ公益財団法人日本太鼓財団ならびにご後援をいただきました各団体、そしてスタッフ・受講生の皆様に心より感謝申し上げます。太鼓に対する一層の情熱と精進を期待しますとともに、更なる日本太鼓普及・発展のため益々ご活躍くださいますことを祈念しご挨拶とさせていただきます。

第68回日本太鼓全国講習会 概要

1. 目的 日本太鼓の技術向上と指導者を育成することにより、日本太鼓の普及・振興を図ることを目的として実施します。
2. 開催日時 2022年 10月15日(土) 11:00(受付開始 9:30)
16日(日) 12:30 講習会終了
* 専門講座を受講された方は、講話(長谷川義氏)を13:15より受講後、14:15頃の解散となります。
なお、技術認定のための検定試験は日曜の13:15より実施します。
3. 講習会場 箕輪町文化センター(長野県上伊那郡箕輪町)
4. 主催 公益財団法人 日本太鼓財団
5. 主管 日本太鼓財団長野県支部、中日本太鼓連合、みのわ太鼓保存会
6. 後援 文化庁、長野県、長野県教育委員会、箕輪町、箕輪町教育委員会、日本財団
7. 講習内容
 - (1) 総合指導 古屋 邦 夫 氏(財団技術委員長)
 - (2) 基本講座 3級基本講座 高 島 奈 々 氏(岐阜県)
4級基本講座 若 山 雷 門 氏(岐阜県)
5級基本講座(初心者講座) 松 枝 明 美 氏(長野県)
 - (3) 専門講座 単式単打法講座(縮太鼓) 渡 辺 洋 一 氏(太鼓集団天邪鬼・東京都)
複式単打法講座 服 部 貴 行 氏(尾張新次郎太鼓保存会・愛知県)
複式複打法講座 高 野 右 吉 氏(高野右吉と秩父社中・埼玉県)
専門講座講話 長 谷 川 義 氏(大分県)
8. 公認指導員昇級試験
本講習会において公認指導員の昇級試験として講習内検定を実施します。
9. 受講者数 約200名
10. 受講に際して
 - (1) 講座は、途中で変更することは出来ません。
 - (2) 講習途中の出入り、見学等は出来ません。
 - (3) 受講中は、休憩時間を除き喫煙、飲食等を禁止します。
 - (4) 受講時の太鼓等の移動は、受講者が積極的に行ってください。
 - (5) 受講者は、運動着、運動靴、筆記用具、バチを持参してください。
なお、各基本講座の受講者は次の指定バチをそれぞれ1組持参してください。
カシバチ 太さ 7.5分~8.0分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
太さ 6.0分~6.5分 長さ 1尺3寸~1尺4寸
* 専門講座については開催要項をご参照下さい。
 - (6) 会場内で、太鼓関係物品の展示及び販売もいたしますので、ご利用下さい。

11. 生活上の心得

- (1) 団体生活においては、秩序と礼儀、協力と責任が基本条件になることを十分に認識して自分の行動を律して下さい。
- (2) 講師や受講生と積極的に語り合い、交流の輪を広げることが講習会の成果を大きく左右します。
- (3) 金銭等の貴重品は必ず身につけて下さい。
- (4) 事故等が発生したら直ちに本部に連絡して下さい。
- (5) 宿泊のマナーには十分気をつけて下さい。
万一の場合に備えて避難口を確認して下さい。室内の整理整頓に心がけて下さい。
- (6) 健康には留意し、特に睡眠時間を十分にとるようにして下さい。
万一体調をくずした場合は早めにお申し出下さい。

12. 講習曲使用について

講習会において使用した曲を、講習会以後に演奏したい場合は、財団事務局までお問合せ下さい。

13. 技術検定 <受検希望者は、下記項目をご確認下さい。>

(1) 受検資格並びに方法

○1級技術検定

2級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に3回合格する必要があります。専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（1,400～1,600字程度・テーマは日本太鼓の効用に関する内容）の提出が必要です。

○2級技術検定

3級技術認定員のみ受検できます。打法の異なる専門講座に2回合格する必要があります。専門講座のうち一つを受講して下さい。

なお、最終検定を受ける方は、論文（600～800字程度・テーマは日本太鼓に関する内容であれば自由）の提出が必要です。

* 1・2級技術検定において全打法（単式単打・単式複打・複式単打・複式複打）の専門講座を受講する必要があります。

* 1・2級最終検定の論文は、400字詰め原稿用紙を使用して下さい。（パソコンで作成の場合、マス目付き原稿用紙に設定して下さい。）

○3級技術検定 4級技術認定員のみ受検できます。

○4級技術検定 5級技術認定員のみ受検できます。

○5級技術検定 10歳以上であれば初心者を含めどなたでも受検できます。

（2023年4月1日までに10歳を迎える方も含みます。）

(2) 技術検定料は一律2,000円、講習内検定料は一律5,000円です。

(3) 認定料は、合格者に限りその場で必要となります。

1級認定料 20,000円、 2級認定料 10,000円、 3級認定料 8,000円、

4級認定料 5,000円、 5級認定料 3,000円

(4) 検定試験の際は必ず各講座の指定バチをご使用下さい。

(5) 直接検定試験を受ける方は、受付で受検方法を確認して下さい。

(6) 基本講座は「日本太鼓教本」が一人一冊必要となります。お持ちでない方は、受付でお求め下さい。

第68回日本太鼓全国講習会・日程表

第1日目 2022年10月15日(土)

時 間	進 行	箕輪町文化センター	備考
9:30	受付開始 受付次第、更衣室で着替えを済ませ、待機して下さい。 私物は個人で管理して下さい。		
	*男子更衣室:		
	*女子更衣室:		
9:40	*講習内検定者打合せ会(基本講座講師・講習内検定参加者)		
11:00	開会式 国歌斉唱 あいさつ (公財)日本太鼓財団 大澤和彦 理事長 日本太鼓財団長野県支部 古屋邦夫 支部長 来賓・役員・講師紹介 閉会の辞		
11:30	講師模範演奏 オリエンテーション 記念写真(講座別)		
12:00	昼食・休憩 *昼食後、各会場へ移動		
13:00	総合指導 講師:古屋邦夫氏		
	3級基本講座 講師:高島奈々氏		
	4級基本講座 講師:若山雷門氏		
	5級基本講座 講師:松枝明美氏		
	単式単打法講座(締太鼓) 講師:渡辺洋一氏		
	複式単打法講座 講師:服部貴行氏		
	複式複打法講座 講師:高野右吉氏		
18:00	講習終了 講習内検定反省会:		
備考	宿舎では、マナーを守って生活して下さい。		

第2日目 2022年10月16日(日)

時 間	進 行	箕輪町文化センター	備考
8:45	朝の集い(体操用に運動着を着用のこと) *荷物は各講習会場に持参		各会場
9:00	総合指導 講師:古 屋 邦 夫 氏 3級基本講座 講師:高 島 奈 々 氏 4級基本講座 講師:若 山 雷 門 氏 5級基本講座 講師:松 枝 明 美 氏 単式単打法講座(縮太鼓) 講師:渡 辺 洋 一 氏 複式単打法講座 講師:服 部 貴 行 氏 複式複打法講座 講師:高 野 右 吉 氏		
11:00	講習終了 成果発表会準備		移動・準備
11:30	各講座成果発表会(1・2級技術検定試験)		
12:15	閉講式 あいさつ (公財)日本太鼓財団 日本太鼓財団長野県支部		
12:30	昼食・休憩		
13:00	専門講座成績発表		
13:15	専門講座講話 講師:長谷川 義 氏		

<以降、検定受検者のみ>

13:00	検定試験説明		
13:15	検定試験(筆記) 5級→3級→4級 終了次第、実技試験を受検 検定試験(実技) 4級→3級→5級 終了次第、学科試験を受検 受講待機場所:		
15:00 (予定)	成績発表 (全員) *合格者は手続き終了後解散		
15:30 (予定)	終了		

講師プロフィール



総合指導

講師 古屋 邦夫

御諏訪太鼓保存会（長野県）会長
（公財）日本太鼓財団技術委員会委員長
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
中日本太鼓連合 会長

- 1967年6月に御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事、以来今年で太鼓歴55年を数える。
- 1970年より宗家小口大八氏と共に岡谷太鼓の指導を始める。信州太鼓連盟（現在の長野県太鼓連盟）の発足に携わる。
- 1978年10月、長野県やまびこ国体で集団演技太鼓の部で県内チームを指導する。以降、各地の団体を指導し、その数170チームを数えている。また、海外でも数多くの公演を行い多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行った。
- 1998年4月から当財団の技術委員会委員として活躍している。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト3国（リトアニア、ラトビア、エストニア）におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月から長野県支部支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任。
- 2019年3月に中日本太鼓連合会長に就任。



基本講座

「3級基本講座」

講師 高島 奈々

岐阜神代響太鼓（岐阜県）代表
（公財）日本太鼓財団1級公認指導員
日本太鼓財団岐阜県支部 事務局長

この講座は、3級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1994年 岐阜市地元保存会に加入し太鼓をはじめ。
- 1995年 奥州猿羽流 宗家：龍連山氏を師事とし大太鼓道を習得。
その後、組太鼓を御諏訪太鼓保存会宗家である故・小口大八氏と古屋邦夫氏に、盆太鼓を助六太鼓家元今泉豊氏に師事。
また現在の（公財）日本太鼓財団が全日本太鼓連盟であった時代から姉妹で講習会に参加。日本太鼓資格認定制度開始以来、初めて5級技術認定員から1級公認指導員までを取得した。
- 1998年 長野冬季五輪閉会式の出演を機に故・小口大八氏より「岐阜神代響太鼓」と名を頂き姉妹で太鼓活動を始める。
- 2003年4月 日本太鼓財団岐阜県支部・岐阜県太鼓連盟の理事就任。
- 2007年5月 財団創立10周年記念日本太鼓フェスティバルに岐阜県より出演。
- 2009年7月 カルチャースクールにて太鼓教室を開講、太鼓の楽しさを伝え普及に努める。
- 2017年11月 財団創立20周年記念日本太鼓フェスティバルに岐阜県より出演。

講師プロフィール



基本講座

「4級基本講座」

講師 若山 雷門

日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクト(岐阜県)代表
(公財) 日本太鼓財団 1級公認指導員

この講座は、4級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 17才にして夏祭りの櫓太鼓に心ひかれ桴を握る。
- 1980年、日本の太鼓まつり出演を皮きりに太鼓曲の作調、振り付け及び育成指導と併せて国内外に演奏活動を展開する。
- 1984年、荘厳な神話の歴史を貫いて誕生した世界最大級「ん太鼓」(直径2.4m)の打頭となり「ん太鼓奉賛会」より鼓号「雷門」を襲名する。また、中部圏を基盤に日本太鼓集団/鼓国雷響プロジェクトを創設し、それぞれ地域の観光、地場産業振興のために民俗芸能を継承している。
- 1996年4月、KOKOKURAIKYOU-HEADTEAM「鼓国雷響JAPAN」をJAPAN代表雷華と共に旗揚げした。
- 各地団体の指導を行ない、既にその数100チームを越える。
- 2011年5月から2015年3月まで当財団代議員、岐阜県支部副支部長を歴任した。



基本講座

「5級基本講座」

講師 松枝 明美

和太鼓すわびと代表
(公財) 日本太鼓財団 1級公認指導員

この講座は、5級技術検定を受けるにあたって事前講習のために設定された基本講座です。

- 1980年3月に御諏訪太鼓に入門、宗家である小口大八氏に師事、以来今年は太鼓歴42年を数える。
- 福島県の指導を皮切りに県内外チームの指導に努め、すでに100チームを越える。また、海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導している。
- 1998年2月に開催された長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2,000人太鼓等の指導を行う。
- 1999年5月下旬～6月下旬にかけ、ペルー並びにボリビアにおける日本人移住100年祭記念公演に参加。
- 2001年4月下旬～5月上旬にかけ、バルト三国(リトアニア、ラトビア、エストニア)におけるユネスコ会議等での公演に参加。
- 2008年10月～2020年3月 長野県支部事務局長、御諏訪太鼓保存会副会長に就任。
- 2020年4月に和太鼓すわびとを立ち上げる。

講師プロフィール



専門講座

「単式単打法」(締太鼓)

講師 渡辺 洋 一

太鼓集団天邪鬼(東京都)代表
(公財)日本太鼓財団技術委員
(公財)日本太鼓財団1級公認指導員
関八州太鼓連合 会長

- 幼少の頃より盆太鼓を学び、1976年に日本初の和太鼓プロ団体である助六太鼓に入門。以後プロ奏者として活動する。
- 1986年12月、創作和太鼓奏者として活動するために太鼓集団天邪鬼を発足。以後、和太鼓音楽を広げようと模索し、1988年に天邪鬼パフォーマンスThe Unknown Worldを作曲。多様な楽器を和太鼓に組み入れたことで、ジャンルの壁を飛び越えた新しい和太鼓音楽を発表し、国内外のアーティストと精力的にセッションを行う等、多彩な音楽活動を続けている。また、全国各地の創作和太鼓の作曲・指導を手掛け、全国大太鼓コンテストにおいては、数多くの優勝者を輩出している。2003年度には文化庁より“特別顧問 文化交流使”を任命され、米国デ^ンバーに於いて1ヶ月の和太鼓指導を行なう。



専門講座

「複式単打法」

講師 服部 貴 行

尾張新次郎太鼓保存会(愛知県)副会長
(公財)日本太鼓財団2級公認指導員

尾張新次郎太鼓は、愛知県尾張地方の農村地帯に江戸時代後期の文化、文政(花開く化成文化)時代から伝わる伝統芸能です。名古屋市の熱田神宮太神楽の獅子舞の打法によって、尾張の曲太鼓として発達し現在に至っています。座して打つ曲芸の太鼓が特徴であり、県内外で多くの演奏活動を行うとともに地元地域では伝統文化の保存と継承、育成を大切に活動しています。

今回の複式単打法講座では、当会の基本となる曲「神楽太鼓」が予定されており、尾張地方に伝わる独特の打法を一人でも多くの皆様に楽しんでいただきたいと思います。

- 1970年愛知県名古屋市生まれ
- 1980年尾張新次郎太鼓保存会に入会

講師プロフィール



専門講座

「複式複打法」

講師 高野 右 吉

高野右吉と秩父社中（埼玉県）代表
（公財）日本太鼓財団 副会長
（公財）日本太鼓財団 1級公認指導員
日本太鼓財団埼玉県支部名誉会長

秩父夜まつりは、京都の祇園、飛騨高山と並んで日本三大曳山祭のひとつであり、毎年12月3日に本祭が行われます。神が宿る20トンもの豪華な六基の山車が繰り出され、それぞれの山車の上で演奏されるのがこの屋台囃子です。1955年に県から無形文化財に指定され、1985年には文化財指定30周年を記念して太鼓道場を設立しました。また、これまでに外国人を含む千人余りの弟子を輩出しています。

- 1942年、埼玉県秩父市で生まれる。
- 幼い頃より父である初代高野右吉（埼玉県指定無形文化財秩父屋台囃子保存者）について、秩父屋台囃子の稽古に日々打ち込む。
- 1962年に屋台囃子保存会副会長、1983年に同会会長となる。
- 演奏活動は、昭和天皇、皇后陛下の天覧を賜わるなど日本全国に及び喝采を浴びている。ボランティアとして地元はもとより各地で後継者を育てている。また、海外ではカナダ39日間公演をはじめ18カ国で公演し、芸術面、技術面とも絶賛された。
- 1998年4月から当財団技術委員会副委員長として活躍している。
- 2016年6月より当財団副会長に就任。



専門講座

「専門講座講話」

講師 長谷川 ただし 義

豊の国ゆふいん源流太鼓（大分県）代表
（公財）日本太鼓財団 会長
（公財）日本太鼓財団 1級公認指導員
全九州太鼓連合 名誉最高顧問

九州の温泉地として有名な由布院は大分県の中央部に位置し、豊後富士といわれる由布岳の裾野、海拔500mの静かな町です。

ゆふいん源流太鼓は、地元で400年という長い歴史の中を名も無く、営々と打ち鳴らされてきたと伝えられる由布院のリズムを現代に引き継ごうと1979年に誕生しました。由布岳の裾野に毎夜集まり、四季折々の自然を相手に練習しながら、身体の中から古代のリズムを再現しています。世界中に、ゆふいんの音色が響きわたる日を楽しみに活動しています。

日本太鼓資格認定制度

本制度は、公益財団法人日本太鼓財団の寄付行為及び日本太鼓資格認定規程並びに日本太鼓資格認定規程細則で詳しく定めている。

主な内容は次のとおりである。

1. 本制度は、指導員としての資格について認定する「公認指導員」と演奏者としての技術水準の資格について認定する「技術認定員」の2つに区分される。
2. 公認指導員は、次の4つに区分され、それぞれ資格を有する。
 - (1) 特別公認指導員は、当財団が特に認めた者で、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員としての資格を有する。
 - (2) 1級公認指導員は、指導員研修会の講師並びに当財団及び支部が主催する全ての講習会における講師、検定員の資格を有する。
 - (3) 2級公認指導員は、当財団及び支部が主催する全ての講習会における基本打法担当講師、検定員としての資格を有する。
 - (4) 3級公認指導員は、支部が主催する講習会における基本打法担当講師としての資格を有する。
3. 技術認定員は、次の5つに区分される。
 - (1) 1級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確かつ優秀である者をいう。
 - (2) 2級技術認定員は、演奏技術全般にわたり技術が正確である者をいう。
 - (3) 3級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得し、かつその演奏が優秀である者をいう。
 - (4) 4級技術認定員は、基本打法の技術を正確に習得した者をいう。
 - (5) 5級技術認定員は、基本打法の基礎を習得した者をいう。
4. 認定試験の受験資格は、次のとおりである。
 - (1) 1級公認指導員は、現に2級公認指導員であり、30歳以上の年齢に達した者。
 - (2) 2級公認指導員は、現に3級公認指導員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (3) 3級公認指導員は、現に1級技術認定員であり、20歳以上の年齢に達した者。
 - (4) 1級技術認定員は、現に2級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (5) 2級技術認定員は、現に3級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (6) 3級技術認定員は、現に4級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (7) 4級技術認定員は、現に5級技術認定員であり、10歳以上の年齢に達した者。
 - (8) 5級技術認定員は、10歳以上の年齢に達した者。

公益財団法人日本太鼓財団概要

<設 立 日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年 4 月 1 日

<資 産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 47支部 (43都道府県)

<加盟団体数> 約670団体

<会 員 総 数> 約18,000人

<役 員> 会 長 長谷川 義 豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉最高顧問
理 事 長 大澤 和彦 常 勤
副 会 長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表
常務理事 佐々城 清 常 勤
理 事 浅野 昭利 (一財) 浅野太鼓文化研究所理事長
理 事 石井 幹子 (株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役
理 事 中西 由郎 元 (一財) 日本モーターボート競走会監事
理 事 山内 強嗣 (福) 富岳会理事長

<評 議 員> 評 議 員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長
評 議 員 岡田 知之 前 (公社) 日本吹奏楽指導者協会会長
評 議 員 河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評 議 員 佐藤 淳子 元 (一財) ライフ・プランニング・センター理事
評 議 員 高島 肇久 (学) 津田塾大学理事
評 議 員 古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評 議 員 宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
評 議 員 渡辺 洋一 太鼓集団天邪鬼代表・関八州太鼓連合会長

<監 事> 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所
監 事 竹村 葉子 弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(五十音順・敬称略)

2022年度の主な事業活動予定

◇日本太鼓ジャンボリー2022

期 日：2022年4月26日(火)
場 所：国立劇場大劇場(東京都千代田区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：11団体

◇第7回大学太鼓フェスティバル

期 日：2022年8月26日(金)
場 所：江戸川区総合文化センター(東京都江戸川区)
共 催：大学太鼓連盟
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

◇第24回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2022年10月23日(日)
場 所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：日本太鼓財団静岡県支部
出演団体：18団体

◇第6回浅草太鼓祭

期 日：2022年11月3日(木・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：15団体程度

◇美ら島おきなわ文化祭2022「太鼓の祭典」

期 日：2022年11月6日(日)
場 所：名護市民会館(沖縄県名護市)
主 催：文化庁、厚生労働省、沖縄県、沖縄県教育委員会、名護市
名護市教育委員会、美ら島おきなわ文化祭2022 沖縄県実行委員会
美ら島おきなわ文化祭2022 名護市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団沖縄県支部
出演団体：27団体

◇第19回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2022年11月20日(日)
場 所：こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

◇第25回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2023年3月19日(日)
場 所：金沢歌劇座(石川県金沢市)
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：50団体程度

講習会開催予定一覧

日本太鼓全国講習会（財団主催）

◇第 69 回日本太鼓全国講習会（長崎県）

期 日 2023 年 2 月 11 日(土)・12 日(日)

開催地 長崎県大村市

* 各講習会のお問い合わせは、(公財)日本太鼓財団公式サイトまたは財団事務局
(Tel. 03-6205-4377) までお問い合わせください。

公認指導員・技術認定員の現在数

(2022年10月現在)

区分 級	公認指導員	技術認定員
1 級	49 名	205 名
2 級	33 名	433 名
3 級	172 名	1,474 名
4 級	—	2,672 名
5 級	—	8,027 名
計	254 名	12,811 名



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomom 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: jigyos@nippon-taiko.or.jp